

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等																		
精神保健福祉援助実習		選択	8	4	夏季(集中)																		
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー																			
宮澤 江梨子	B313	eriko.miyazawa		木曜日 10:30~12:30																			
授業の目的・概要	<p><目的> 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得することを目的とする。</p> <p><概要> 実習は医療機関と施設・機関の2か所で実施する。医療機関で98時間程度、施設・機関での実習を112時間程度とし、合計で210時間以上の実施となる。</p>																						
授業形式・方法	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>対面授業</td> <td><input type="checkbox"/>講義</td> <td><input type="checkbox"/>演習</td> <td><input type="checkbox"/>PBL</td> <td><input type="checkbox"/>反転授業</td> <td><input type="checkbox"/>ディスカッション・ディベート</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型)</td> <td><input type="checkbox"/>実習</td> <td><input type="checkbox"/>実技</td> <td><input type="checkbox"/>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実習・フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学习)</td> <td colspan="5"><input type="checkbox"/>その他 ()</td> </tr> </table>					<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input type="checkbox"/> その他 ()				
<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input type="checkbox"/> その他 ()																						
学習上の助言	精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握することを意識して実習に臨むこと。																						
教科書	新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 第2版/編:日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版																						
参考書	「学外実習の手引き」(健康科学大学健康科学部福祉心理学科編集)																						
外部教材	特になし。																						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針																			
①	精神科医療機関・関連施設・事業所の機能及び地域での役割を理解し、説明できる。			HSU(2)、WP(3)、(5)																			
②	医療機関及び施設での精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。			HSU(2)、WP(3)、(5)																			
③	習得した知識や技術を生かして、精神障害者の支援を考えることができる。			HSU(1)、WP(1)、(2)																			
④	自己覚知を深めている。			HSU(4)、(5)、WP(1)、(4)																			
⑤																							
⑥																							
授 業 計 画																							
<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働大臣が別に定める実習施設及び事業所で行なう。 精神保健福祉援助実習は、28日間かつ210時間以上の実習をしなければならない。そのうち12日間(90時間)以上は医療機関での実習とする。 精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。 実習前の担当教員による個別面接及び実習中の巡回指導を実施する。 																							
				必要時間(単位:時間): 210																			

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

学習課題・学習時間							
実習記録(実習日誌)を毎日作成し、翌朝実習指導者に提出する。現場実習で関連があった領域や法律について調べ学習を行うこと。							
必要時間 (単位: 時間): 150							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習日誌を通して、実習での取り組み及び考察から、知識・思考力・推論・想像力について評価を行う。				実習日誌及び自己評価を基に巡回指導にて振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習のまとめ及び実習機関からの評価を踏まえ、実習への積極的な参加及び成果について評価を行う。				実習後に個別に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。実習にあたっては、大学が公表している感染症対策及び実習先の示す感染症対策並びに教員が示す方法を遵守すること。 今後、新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってはシラバスが変更される可能性がある。					